



ヒノキの無垢フローリングと漆喰壁、和風に仕上げたリビング空間に暖炉が不思議とじっくり似合っている。左手の引き戸を開ければ玄関。



玄関。正面の引き戸を開ければリビング。左手アールの腰掛けが優しい配慮。土間も床暖房完備。



ホワイトのシンプルな外観。2階から伸ばした暖炉の煙突がアクセントに。



ダイニングとリビングの間に設けられた間仕切りは、大工さんの丁寧な手仕事による。

木の家と暖炉と床暖房

炎を囲めば 何とも言えない 心地よさ

Part 3 東京都・Yさんのお宅

玄関からリビングを見渡すと漆喰壁とヒノキのフローリング、その先のダイニングを心持ち隠す木組みの間仕切りなど、和の落ち着いた雰囲気を訪れる人を魅了する空間構成です。シックハウスとは無縁の家づくりは徹底しています。フローリングも無塗装だから足触りがよく、その上、床暖房も入っているとは気づかない自然な温もり。床暖房は電気温水式で温水を循環させるシステムです。給湯機能はシャワーも豊富で快適です。5年前に新築して以来、電気温水器のみでの床暖房・給湯方式でしたが昨年の暮れに念願の暖炉を購入して従来の床暖房・給湯に連結しました。床暖房と暖炉の組み合わせで、この冬はとにかく快適。2階床の2カ所に設けた簀の子張りからマイルドな暖気が階上にも伝わっていきます。Yさんご夫妻は、住まいだけでなく食事にしても健康志向。インスタント食品は避けて手づくりを心がけているそうです。お味噌も手づくりとのこと。お料理上手な奥さまにとって暖炉は一石三鳥？ 今日、その腕前を見せていただきました。メニューは、鯛飯・塩コショウとニンニクで採み込んだ豚バラとキャベツ、人参、カボチャの蒸し料理・鴨肉のバーベキュー…食パンetc. そのどれもが美味しかったこと！

美味しい料理ができるだけでなく、暖炉のそばは家族4人のくつろぎ空間です。赤い炎と薪のはぜる音が心地よく、自然に皆が集まります。

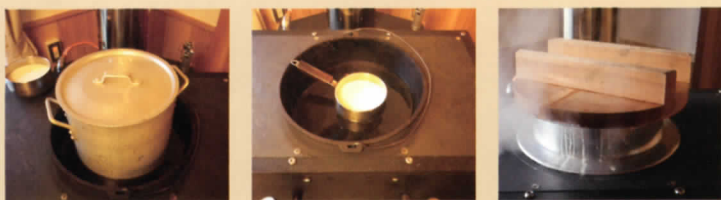


「料理のレパートリーが広がりました」

ダッチオーブンをはじめ諸物の容器を揃えれば、たくさんの料理がおいしくできる。左上からキャベツと豚バラ肉蒸し、鴨のバーベキュー、手づくり食パン、釜飯2個とおでん、焼き芋・焼きジャガイモ。



赤々と燃える暖炉の火と薪のはぜる音を楽しみながら食卓を囲む。お料理は暖炉で調理したものばかり。



メーカーに聞きました

簡単においしい料理が作れる暖炉は、家族の団楽やホームパーティーの主役です。

この暖炉では1度に5台のオープンで料理ができます。上部に据付けた16インチの大きなダッチオーブンは万能オーブンです。中に直接お皿やお鍋が入るので、汁や調味料等がオープンに付かず後片付けが楽。また大型の湯煎器として使うとスープやカレー等も焦げません。ミルクの加温にも最適です。中段と下段では中、小2台ずつのダッチオープンが使い、リゾットやおでん、煮物等の小人数用の料理が楽しめます。更に特筆すべきは、中段で大型の食材も調理できる点です(子豚の丸焼き、ブロック肉のロースト、直火での串焼き等)。家族の団楽や大勢の人が集まるホームパーティー等ではこの暖炉が主役になるでしょう。富士プラント・アルコ/深山氏(談)



右●鴨の串焼きの具合を見るご主人。「床が温かいのでついゴロリと寝てしまうことも」と。左●大きなお釜で鯛飯がふつくと炊きあがる。「わ～、おいしいぞ!」とお友だち。



小5の長男がキャンプでおぼえてきたホットドッグを作ってくれた(アルミホイルにくるんで牛乳パックに入れたパンをそのまま火の中に)。

DATA

家族構成●夫婦+子供2人
敷地面積●127.87㎡ (38.68坪)
1階面積●75.14㎡ (22.73坪)
2階面積●75.14㎡ (22.73坪)
延床面積●150.31㎡ (45.46坪)
構造●木造2階建
竣工●2002年4月
床暖房●夜間電力利用システム+フレーム
アート(暖炉)
富士プラント・アルコ(株)

設計
上田設計事務所
施工管理
関東建築ネットワーク
東京都練馬区谷原5-17-3
Tel 03-5910-7341 Fax 03-5910-7340
http://kanto-kenchiku.net/



床暖房設置箇所

1F



2F